

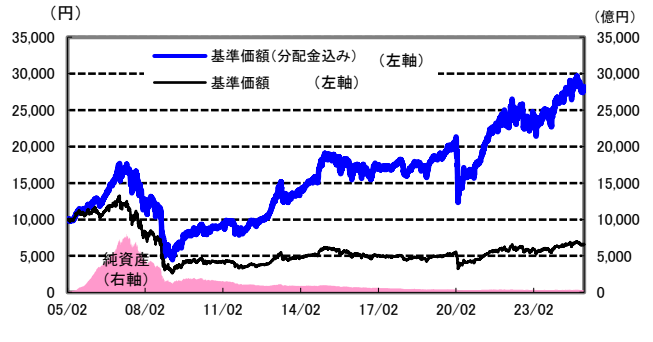


運用実績と基準価額変動の要因分解

2025年1月31日 現在

運用実績の推移

(日次)



上記の基準価額(分配金込み)の推移は、設定日前日を10,000円として、税引前分配金を分配日に再投資したものと計算した分配金込み修正基準価額です。ファンドの騰落率は、分配金を課税前再投資したものと計算しております。従って、実際のファンドにおいては、課税条件によって受益者ごとに異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。
 ・基準価額の推移は、当該ファンドの信託報酬控除後の価額です。
 ・当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

基準価額	6,572 円
前月末比	-60 円
純資産総額	324.5億円

- 信託設定日 : 2005年2月21日
- 信託期間 : 無期限
- 決算日 : 年12回。原則、毎月各23日 (同日が休業日の場合は翌営業日)。

騰落率						
期間	1ヵ月	3ヵ月	6ヵ月	1年	3年	設定来
ファンド	-0.8%	-4.6%	-0.4%	6.5%	20.9%	180.0%

・騰落率の各計算期間は、作成基準日から過去に遡った期間としております。

分配金(1万円当たり、課税前)の推移 (過去12ヶ月分の分配実績)	設定来累計	9,490 円			
2024年2月	2024年3月	2024年4月	2024年5月	2024年6月	2024年7月
10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円
2024年8月	2024年9月	2024年10月	2024年11月	2024年12月	2025年1月
10 円	10 円	10 円	10 円	10 円	10 円

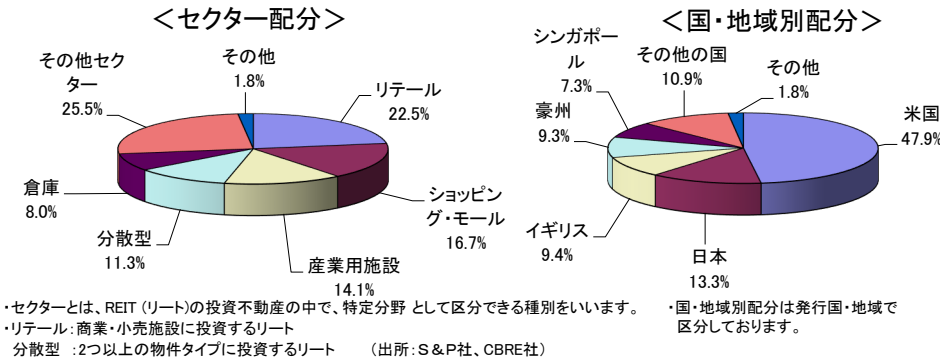
基準価額変動の要因分解

	2024年11月	2024年12月	2025年1月	直近3ヶ月累計
基準価額騰落額(分配金込み)	-166 円	-103 円	-50 円	-319 円
リート要因	-10 円	-320 円	105 円	-225 円
米国	38 円	-230 円	21 円	-171 円
豪州	32 円	-27 円	21 円	26 円
カナダ	-5 円	-7 円	-0 円	-12 円
為替要因	-147 円	224 円	-146 円	-69 円
米ドル	-66 円	157 円	-77 円	14 円
豪ドル	-17 円	2 円	-17 円	-31 円
ユーロ	-19 円	14 円	-12 円	-17 円
信託報酬等	-9 円	-8 円	-9 円	-25 円

※分配金実績は、将来の分配金の水準を示唆あるいは保証するものではありません。
 ※ファンドの分配金は最新の投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。

・左記の要因分解は、委託会社が算出したものであり、直近3ヶ月の基準価額騰落額の要因を円未満を四捨五入して表示しております。
 ・要因分解の内訳については、主要な地域・通貨について表示しています。

セクター配分及び国・地域別配分



・セクターとは、REIT(リート)の投資不動産の中で、特定分野として区分できる種別をいいます。
 ・リテール: 商業・小売施設に投資するリート
 分散型: 2つ以上の物件タイプに投資するリート (出所: S&P社、CBRE社)
 ・国・地域別配分は発行国・地域で区分しております。

REIT組入・特性値

REIT組入比率	98.2%
配当利回り	5.0%
組入銘柄数	84 銘柄

・組入比率は、マザーファンドのREIT組入比率と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出してしております。
 ・配当利回りは、毎月末算出される各銘柄の配当金等(実績ベースを基本)をもとに、組入比率を掛けたものを年率で表示したものです。配当金等は、税金等を控除していません。従って、実際にファンドが受け取ることができる金額とは異なります。(出所: CBRE社)

組入上位10銘柄

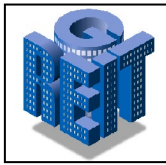
銘柄名	国・地域名	セクター名	純資産比
1 センター・グループ	豪州	ショッピング・モール	5.7%
2 サイモン・プロパティ・グループ	米国	ショッピング・モール	5.5%
3 リアルティール・インカム	米国	リテール	4.1%
4 日本都市ファンド投資法人	日本	リテール	3.2%
5 ロンドンメトリック・プロパティ	イギリス	分散型	3.2%
6 エクストラスペース・ストレージ	米国	倉庫	3.0%
7 リージェンシー・センターズ優先	米国	リテール	3.0%
8 リンク・リート	香港	リテール	2.6%
9 クレピエール	フランス	ショッピング・モール	2.5%
10 オリックス不動産投資法人	日本	オフィスビル	2.4%
合計			35.3%

・純資産比は、マザーファンドにおける純資産比と当ファンドが保有するマザーファンド比率から算出してしております。

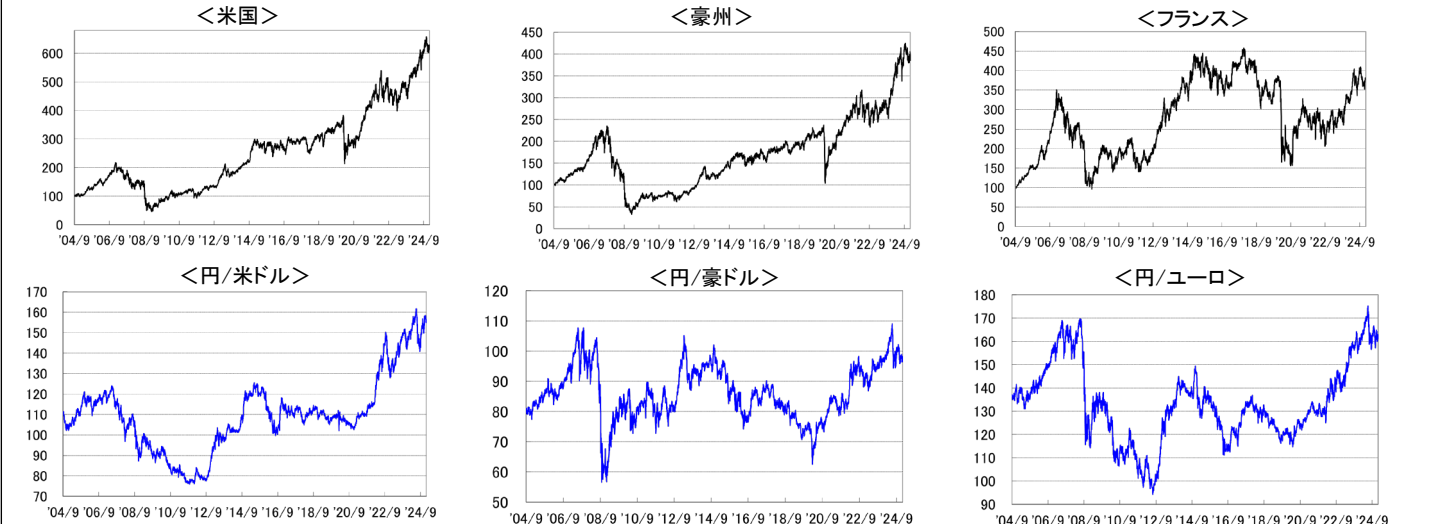
ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込みの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用 野村アセットマネジメント

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



主要投資国のリート指数の推移(円ベース)と為替レートの推移



期間: 2004年9月末~2025年1月末。REIT指数: S&P先進国REIT指数(配当込み・円換算)、2004年9月末を100として指数化。為替: 対顧客電信売買相場(仲値)、単位は円。出所: S&P、ブルームバーグのデータを基に野村アセットマネジメントが作成。 ※S&P先進国REIT指数はスタンダード・アンド・プアーズ ファイナンシャル サービスズ エル エル シーの所有する登録商標です。

1月の投資環境

<世界リート市場>

国・地域別について米国では、12月の米コアCPI(消費者物価指数)が市場予想を下回ったことや、中国企業が開発した低コストの高性能AIが米国のAI産業の脅威になるとの懸念から投資家のリスク回避姿勢が強まり、相対的に安全資産とされる米国債に資金が流入し、米国10年債利回りが低下(価格は上昇)したことなどを背景に月間では上昇となりました。欧州については、英CPI上昇率の前年同月比が鈍化し、インフレ懸念が後退したことや、欧州株式市場が上昇したことなどを背景に月間では上昇となりました。豪州については、中国の主要経済指標が軒並み市場予想を上回ったことなどが好感され豪州株式市場が上昇したことや、豪CPIが市場予想を下回ったことから2月の利下げ期待が高まったことなどを背景に月間では上昇となりました。日本については、日銀が24日に金融政策決定会合で追加利上げを行ないましたが、その後、一部のJ-REITに対して海外投資家による投資口のTOB(株式公開買付け)が発表され、投資家心理が改善したことなどを背景に月間では上昇となりました。

為替についてドル・円レートは、12月の米コアCPIが市場予想を下回り、米長期金利が低下したこと等を背景に日米金利差の縮小が意識され、中旬にかけて円高・ドル安となりました。その後も、トランプ大統領の積極的な関税政策がインフレ圧力を高めるとの懸念から円安・ドル高となる局面もありましたが、日銀が金融政策決定会合において政策金利の0.25%引き上げを決定したことに加え、あわせて公表した「経済・物価情勢の展望(展望レポート)」において2026年度までの物価見通しが上方修正され、今後も日銀による利上げが続くとの見通しが強まったこと等から月間では円高・ドル安となりました。ユーロ・円レートは、中旬にかけて、日銀の追加利上げ観測や輸入関税引き上げに対する警戒感から円高・ユーロ安となりました。その後も、下旬には米国のハイテク関連銘柄を中心に株価が大幅下落したことを受けてリスク回避姿勢から円高が進行し、月間では円高・ユーロ安となりました。(※円安は基準価額に対してプラスに、円高はマイナスに影響します。)

1月の運用経過

(運用実績、分配金は、課税前の数値で表示しております。)

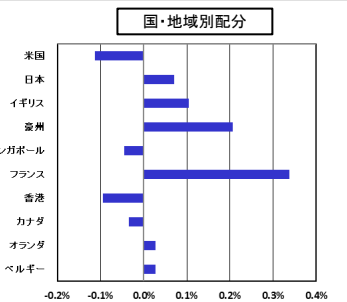
(1) 国・地域別配分

フランスなどを増やした一方で、米国などを減らしました。

(2) セクター配分(物件のタイプ)

ホテルや個人用倉庫セクターなどをオーバーウェイト(参考指数に比べ高めの投資比率)としています。ホテルセクターは、ビジネス出張などの宿泊で利用される物件の需要が回復傾向であると考えています。個人用倉庫セクターは、需要や収益成長性が高いことを評価しています。

(グラフの「国・地域別配分の増減」は、純資産比率ベースで、前月末との比較をしたものです。価格の騰落などによっても国・地域別配分は変動します。)



今後の運用方針 (2025年1月31日 現在)

(以下の内容は当資料作成日時時点のものであり、予告なく変更する場合があります。)

CBREインベストメントマネジメント社は、リートの足元のファンダメンタルズ(基礎的條件)は安定しており、2025年のリート各社の利益成長率は加速し5%のプラス成長となる可能性があるかと予想しています。今後もリートは長期のリース契約や高い稼働率に支えられると考えています。加えて今後FRB(米連邦準備制度理事会)をはじめとする主要中央銀行による利下げが進行されれば、リート市場の下支えとなる可能性があります。

そのような投資環境の中で、リートのクオリティを重視した投資戦略を継続していきます。ファンダメンタルズが良好な地域において、実績のある経営陣、明確な経営方針、健全な財務、優れた資金調達力、保有物件の競争力等の観点から、質の高い銘柄に焦点を当てて投資していきます。内部成長、外部成長の両面からキャッシュフロー(現金収支)を成長させることができるリートを選別します。

ファンドは、変動のある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様に帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込んだりいただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目録見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。



ファンドの特色

- 信託財産の成長を図ることを目的として積極的な運用を行なうことを基本とします。
 - 世界各国のREIT(不動産投資信託証券)*1を実質的な主要投資対象*2とします。
※1世界の金融商品取引所に上場(これに準ずるものを含みます。)されている不動産投資信託証券(一般社団法人投資信託協会規則に定める不動産投資信託証券をいいます。)とします。なお、国によっては、「不動産投資信託証券」について、「REIT」という表記を用いていない場合もありますが、ファンドにおいては、こうした場合も含め、全て「REIT」といいます。
※2「実質的な主要投資対象」とは、「グローバルREITオープン マザーファンド」を通じて投資する、主要な投資対象という意味です。
*ファンドが投資対象とするREITには、株式会社が発行する優先株に相当するREITも含まれます。
 - REITへの投資にあたっては、各銘柄ごとの利回り水準、市況動向、流動性等を勘案しながら、収益性・成長性などの調査や割安分析などにより投資銘柄を選別し、高水準の配当収益の獲得と中長期的な値上がり益の追求を目指して運用します。
 - REITの実質組入比率は、原則として高位を維持することを基本とします。
 - 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。
 - ファンドは「グローバルREITオープン マザーファンド」を通じて投資するファミリーファンド方式で運用します。
 - マザーファンドの運用にあたっては、シービーアールイー・インベストメントマネジメント・リステッドリアルアセット・エルエルシーに、運用の指図に関する権限の一部を委託します。
 - 原則、毎月23日(休業日の場合は翌営業日)に分配を行いません。
分配金額は、分配対象額の範囲内で委託会社が決定するものとし、原則として配当等収益等を中心に安定分配することを基本とします。
ただし、基準価額水準等によっては売買益等が中心となる場合があります。
*委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。
- 資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

投資リスク

ファンドは、主にREIT(不動産投資信託証券)等を実質的な投資対象としますので、組入REITの価格下落や、組入REITの倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落することがあります。また、外貨建資産に投資しますので、為替の変動により基準価額が下落することがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。
※詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込メモ】

- 信託期間 無期限(2005年2月21日設定)
- 決算日および収益分配 年12回の決算時(原則、毎月23日。休業日の場合は翌営業日)に分配の方針に基づき分配します。
- ご購入価額 ご購入申込日の翌営業日の基準価額
- ご購入単位 一般コース: 1万口以上1万口単位(当初元本1口=1円) または1万円以上1円単位
自動かけ投資コース: 1万円以上1円単位
※お取扱コース、ご購入単位は販売会社によって異なる場合があります。
- ご換金価額 ご換金申込日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額
- 課税関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。ファンドはNISA(少額投資非課税制度)の対象ではありません。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【当ファンドに係る費用】

◆ご購入時手数料	ご購入価額に3.3%(税抜3.0%)以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にご確認ください。
◆運用管理費用(信託報酬)	ファンドの純資産総額に年1.485%(税抜年1.35%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。 *ファンドが実質的な投資対象とするREITは市場の需給により価格形成されるため、その費用は表示していません。
◆その他の費用・手数料	組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用、ファンドに関する租税等がお客様の保有期間中、その都度かかります。 ※これらの費用等は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。
◆信託財産留保額(ご換金時)	1万口につき基準価額に0.3%の率を乗じて得た額 上記の費用の合計額については、投資家の皆様がファンドを保有される期間等に 応じて異なりますので、表示することができません。 ※詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【ご留意事項】

- ・投資信託は金融機関の預金と異なり、元金は保証されていません。
- ・投資信託は預金保険の対象ではありません。
- ・登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。

ファンドの販売会社、基準価額等については、下記の照会先までお問い合わせください。

野村アセットマネジメント株式会社
 ☆サポートダイヤル☆ 0120-753104(フリーダイヤル)
 <受付時間> 営業日の午前9時～午後5時
 ☆インターネットホームページ☆ <https://www.nomura-am.co.jp/>

<委託会社> **野村アセットマネジメント株式会社**
 [ファンドの運用の指図を行なう者]
 <受託会社> **野村信託銀行株式会社**
 [ファンドの財産の保管および管理を行なう者]

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申し込みにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

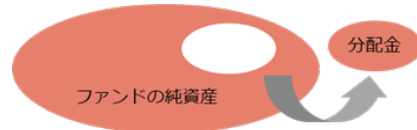
◆設定・運用 **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
 一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員



分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



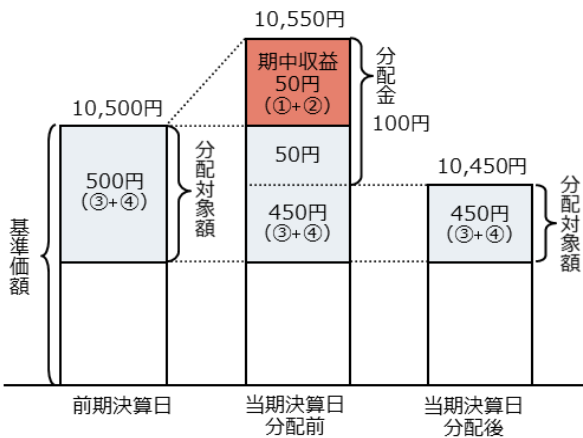
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

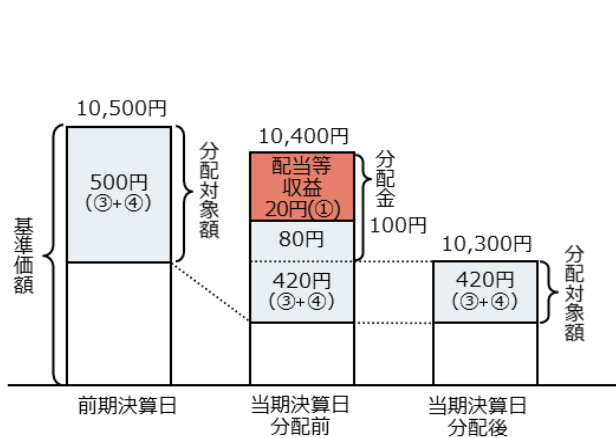
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



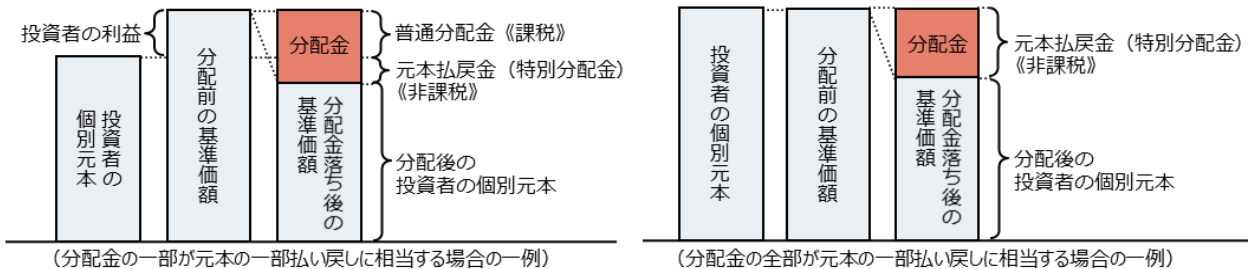
前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

●投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

ファンドは、値動きのある証券等に投資します(外貨建資産に投資する場合には、この他に為替変動リスクもあります。)ので、基準価額は変動します。したがって、元金が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。また、本書中の運用実績に関するグラフ、図表、数値その他いかなる内容も過去のものであり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。当資料は、ファンドの運用状況に関する情報提供を目的として野村アセットマネジメントが作成した資料です。投資信託のリスクやお申込メモの詳細についてのご確認や、投資信託をお申込いただくにあたっては、販売会社よりお渡しする最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえご自身でご判断ください。

◆設定・運用 **野村アセットマネジメント**

商号 野村アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第373号
一般社団法人投資信託協会会員／一般社団法人日本投資顧問業協会会員
一般社団法人第二種金融商品取引業協会会員

グローバルREITオープン

お申込みは

金融商品取引業者等の名称	登録金融機関	登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社三井住友銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第54号	○		○	○
株式会社山形銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第12号	○			
株式会社北洋銀行	登録金融機関	北海道財務局長(登金)第3号	○		○	
株式会社北日本銀行	登録金融機関	東北財務局長(登金)第14号	○			
株式会社名古屋銀行	登録金融機関	東海財務局長(登金)第19号	○			
北洋証券株式会社	金融商品取引業者	北海道財務局長(金商)第1号	○			

※上記販売会社情報は、作成時点の情報に基づいて作成しております。

※販売会社によっては取扱いを中止している場合がございます。